

パブリックコメントにおける意見の計画への反映について

1 実施期間等

- ・実施期間 令和5年11月1日（水）～令和5年11月14日（火）
- ・周知方法 本庁舎、伏木・戸出・中田・福岡支所での縦覧
市ホームページ、市SNS（Facebook、X）、市広報紙（市民と市政11月号）
- ・意見件数 11件（8人）（応募方法内訳 電子申請4人、メール3人、FAX:1人）

計画への反映等の状況
◎計画に反映します。
○ご意見も踏まえた計画の策定を行っています。
いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。

2 ご意見への対応及び考え方、計画への反映等

No.	対象ページ等	ご意見	考え方	計画への反映等
1	総論 (3頁)	アフターコロナ編が目指す方向と個々の施策の関係を分かりやすくするため、総論の「策定の趣旨」に「アフターコロナ編における新たな視点」などの小見出しをつけたり、大切な言葉を項目立てして抜き書きしたりしてはどうか。	⇒総論を内容別に分け、それぞれに小見出しを付けたり、図を挿入するなど、目指す方向が伝わりやすいよう編集を行います。	◎ 計画に反映します。 P3 「策定の趣旨」を内容別に3つに分け、「策定の趣旨」、「アフターコロナ編における新たな視点」、「ヒト・モノ・コト・の循環から「持続可能な未来都市 高岡」へ」と小見出しを付けます。また、内容を示した図を挿入します。
2	安全・安心 (16-18頁)	AIを活用した除雪車の誘導やライブカメラによる降雪状況の把握など、除雪にDXを取り入れてはどうか。	⇒安全・安心な市民生活を支えるため、道路の除排雪を充実し、雪に強いまちづくりを進めることが大切だと考えています。 現在、車道除雪車（約300台）にGPS端末を接続し、除雪車の稼働状況をリアルタイムに把握し、効率的な除雪作業に努めることとしています。 市の管理する消雪施設について、各施設に遠隔装置を設置し、遠隔で稼働状況を監視できる運用体制とする等、デジタル技術を活用して市民サービスの向上に努めてまいりたいと考えています。	◎ 計画に反映します。 P16 「安全・安心」「デジタル化・DXの推進」に「○デジタル技術を活用した除排雪の効率化や、広報等による新規オペレーター確保に努め、除雪体制の充実を図ります。」を追記します。 （総合計画第4次基本計画に記載のある「除雪体制の充実を図るため、広報等による新規オペレーター確保に努めます。（15-⑥ 雪対策の充実）」に下線部を加えて修文し、アフターコロナ編に追記します。）
3	地域産業 (7-9頁)	気象データ、稲の画像データ（色、稲の高さ、実の数）から用水ゲートやバルブを細かく調整するなど、田んぼへの給水自動化に取り組んではどうか。	⇒農業従事者の減少・高齢化が進行する中であって、農業が将来にわたって持続可能となるよう、デジタル技術の活用による作業の効率化・省力化とともに、品質の向上につなげることが大切と考えています。 現在、JA等の関係団体と連携し、スマート農業技術（給水ゲートや薬剤散布用ドローンなど）の導入に要する経費の支援に取り組んでおり、農業版DXの推進に努めることとしています。	○ ご意見も踏まえた計画の策定を行っています。 いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P7 「地域産業」「デジタル化・DXの推進」の中で「スマート農業の推進」や「IoT、AI等の技術を駆使した農業への挑戦の支援」について記載しています。

No.	対象ページ等	ご意見	考え方	計画への反映等
4	地域産業 (7-9頁) 子育て・教育 (14-15頁)	アフターコロナ編（案）に記載の問題意識はその通りだと思う。具体的な事業として着実に進めてほしい。 働き方の受け皿を作ることは各企業が行うことであるが、女性や高齢者を含んだ能力はあるが機会のない人が、短時間でも働けるよう市でも周知などにしっかり取り組んでほしい。	⇒子育てや介護など限られた時間の中で働きたい女性や資格・スキルを活かしたい女性を支援するため、短時間や短時間で働きたい人と人材を求めている企業等を登録・マッチングする「高岡市女性人材バンク」を本年5月に運用開始しました。 また、職場における女性活躍の推進等を目的とした女性向けのセミナーの開催やハローワークと連携して実施する中高年齢者等向けの企業説明・面接会について、市民と市政や市ホームページのほか、高岡商工会議所等のメールマガジンなどを利用し、周知を図っています。 多様な働き方ができるよう、関係機関と連携し、事業の周知に努めていくこととしています。	○ ご意見も踏まえた計画の策定を行っています。 いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P8 「地域産業」「人材育成・人材確保」の中で、“中高年齢者の雇用の場の確保”について記載しています。また、“多様な働き方ができる環境整備の推進”の中で、“女性の活躍推進についての啓発”について記載しています。 P14 「子育て・教育」「多様な働き方ができる環境整備の推進」の中で“子育て中、介護中などであってもキャリアを生かして働きたい方が柔軟に働ける環境整備”、“女性の活躍推進についての啓発”について記載しています。
5	歴史・文化 (10-11頁) 安全・安心 (16-18頁)	現在、女性の自治会運営への参画はあまり見られない。女性の意見が自治会運営に反映されているとは言えない状況となっている。 女性が自治会活動に参画しやすいよう環境を整えることが必要である。 また、地域の祭りや行事等を担う人材不足が社会的な課題となってきた。地域の祭りや行事等を担う新たな人材の育成・確保を図るためにはジェンダーギャップの解消が大切である。	⇒男女平等・共同参画社会の実現には、社会のあらゆる分野で男女が共に参画することが大切だと考えています。 現在、各種審議会や地域活動への女性の参画を促進するとともに、自治会やPTAなど地域活動組織と連携・協力し、男女平等・共同参画をテーマとした講座等を開催しています。また、地域活動への女性の参画の必要性について、理解と周知に努めることとしています。	○ いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 総合計画第4次基本計画の「16-③ 男女平等・共同参画社会の実現」の中で“男女平等・共同参画意識の啓発”、“社会活動への参画推進”について記載しています。
6	交流・観光 (12-13頁)	高岡に強みのある歴史・文化を目的とした観光や産業観光に焦点が当たっているが、今後、旅行目的は多様化すると思われる。スポーツツーリズム、メディカルツーリズム、ヘルスツーリズム、アグリツーリズムなどを含めた体験型の幅広いメニューに目配せしながら観光振興に努めていくことが必要ではないか。東京から一本で来ることができる新高岡駅を持つ地の利を十分に活かしてほしい。	⇒多様化する旅行者のニーズや北陸新幹線敦賀開業の機会をとらえ、体験型旅行も含め様々な旅行メニューを検討していく必要があると考えています。 特に、スポーツツーリズムにおいては、レンタルサイクルの整備や富山湾岸サイクリングを活かしたサイクルツーリズムの推進などを検討していきます。	○ ご意見も踏まえた計画の策定を行っています。 いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P12 「交流・観光」「現状と課題」の中で、“旅行目的の多様化”について、P13 「交流・観光」「主な事業」の中で、“多様な観光需要への対応”について記載しています。
7	子育て・教育 (14-15頁)	児童ごとの学習教材の自動生成ソフトの開発や、登下校を顔画像認証で確認し子どもの安全に活かす、プールの水質をセンサーで自動測定するなど、教育現場にDXを取り入れてはどうか。	⇒一人一台のタブレット端末の配備を実現するとともに、オンライン授業などの遠隔学習機能の強化など、学校現場でのICT教育環境の整備促進を進めています。また、ICT機器を活用し、公務の改善・効率化に努めてまいりたいと考えています。 学校教育におけるDXや生成AIの活用については、個人情報の取得などセキュリティ上のリスクを含むため、他の自治体の先進的な取り組みも注視しながら、効果や課題について研究してまいりたいと考えています。	○ ご意見も踏まえた計画の策定を行っています。 いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P14 「子育て・教育」「デジタル化・DXの推進」の中で、“教職員・保育士が子どもと向き合う時間の確保に向けたデジタル技術の活用”や“ICTの教育環境を活用した多様な学びの実現”について記載しています。
8	全体	市民に向けての文章なら、もっとわかりやすくするべき。カタカナ語を多用する必要はあるのか。結局肝心なことがぼやけているのではないかな。	⇒概要版を別途作成します。概要版はホームページなどで広く周知に努めることとします。	○ 具体的な事業を検討する際の参考とします。

No.	対象ページ等	ご意見	考え方	計画への反映等
9	全体	地域の活性化には地域コミュニティや地域で培われてきた文化が大切である。しかしこの30年、大きなショッピングセンターができるなど、地域と市の風景が画一化してきている。便利ではあるが、市街地はどんどん寂れ、地域情報交流の場であった銭湯や小さな商店などがなくなり、市街地の持つ社会的機能が失われている。	⇒アフターコロナ編において、地域コミュニティ活動の活性化の視点は重要であると考えており、全分野に共通するテーマとしています。 また、市街地の活性化のため、地区ごとの歴史や文化などの特性を生かし、人々の交流を促す、歩いて楽しいまちづくりに努めていくことが大切と考えています。 安心や絆を感じられる地域コミュニティと魅力的で安全なまちを形成し、地域社会・地域経済の新たな活力につながるヒト・モノ・コトの循環をつくり、持続可能なまちを目指します。	○ ご意見も踏まえた計画の策定を行っています。 いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P3 「総論」「アフターコロナ編における新たな視点」、「ヒト・モノ・コト」の循環から「持続可能な未来都市 高岡」へ」の中で、「地域コミュニティの活動の活性化」について記載しています。また、各分野の「施策の展開」「地域コミュニティの活動の活性化」の中で、地域コミュニティにおける施策の展開について記載しています。
10	全体	PTAと地域が手を取り合うことが非常に大切であると思っている。PTAと自治会の連携の先進事例として、PTAが参加する形での防災訓練や、PTAがスマホ活用支援を行った例もある。高岡市役所としても、PTAと自治会等の間に入り、好事例の横展開を図ってほしい。	⇒安心や絆を感じられる地域コミュニティを形成し、将来にわたって持続させていくためには、地域活動団体、PTA、企業等、多様な主体の連携が大切であると考えています。 子どもたちの居場所づくりや防災の面からも、地域や行政、教育関係団体など多様な主体が連携して行う活動を支援し、連携推進に努めることとしています。	○ ご意見も踏まえた計画の策定を行っています。 いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P14 「子育て・教育」「地域コミュニティ活動の活性化」の中で“地域ぐるみで子どもたちの成長を支える体制づくり”について記載しています。 P17 「安全・安心」「多地域コミュニティ活動の活性化」の中で“自主防災組織の多様な主体との連携”について記載しています。
11	全体	DXを進めることは大切だと思いますが、電子申請やアプリなど高齢者にとってはハードルが高い場合もある。使いこなせない高齢者が取り残されないようにしてほしい。	⇒情報社会において、デジタル技術の活用に対応できない方がとり残されることがないよう、情報格差（デジタルデバイド）をなくしていくことが重要であると考えています。 現在、市内の各公民館などで初心者や中級者を対象としたスマートフォン講座を開催しており、講座では、地図、キャッシュレス決済、LINEなど、各自でアプリを操作し、使い方を体感いただいているところであり、情報格差（デジタルデバイド）対策に取り組んでまいります。	○ ご意見も踏まえた計画の策定を行っています。 いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P16 「安全・安心」「デジタル化・DXの推進」の中で“高齢者や障害者等の情報格差（デジタルデバイド）の是正”について記載しています。